岩盤ボーリング柱状図

調査名　一級河川　太田川水系　青ケ迫川　通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県山県郡安芸太田町田吹	北緯	34° 33' 05.8857"
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和3年 5月 7日～ 令和3年 5月13日	東経	132° 12' 27.5133"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 530.06m	角度	180°(上) 90° 0°(下)	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	13.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦製BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長(cm) / RQD(%)	記事	孔内水位/測定月日
1				人工材料	暗灰							100	既設堰堤。硬質な粗石とコンクリートの混合材料(粗石コンクリート)からなる。粗石は3～30cm程度の物を含む。コンクリートは粗骨材を含み,セメント部は全体的に軟化し,一部粘土化している箇所も見られる。GL-0.7mから逸水。	5/8 無し
2												100		
3												100		
4												100		
5												100		5/10 4.70
6	524.06	6.00										100	GL-5.55～5.65m間は空隙が見られる。	5/11 5.40
7				玉石混り砂礫	褐灰							100	最大径20cm程度の玉石を含む砂礫層。砂は中～粗砂主体。φ1～5cm程度の亜角礫を含む。少量の細粒分を含む。	
8												100		
9												100		
10												100		
11	518.81	11.25										0 0 100		
12				風化花崗岩	淡褐灰	w4	h3	D	V	d	D	0 0 100	中～粗粒花崗岩。コア芯部まで風化しているが,岩組織は明瞭。DH級相当で, 指圧で崩れる。	
13	517.06	13.00												
14														
15														
16														
17														
18														

標準貫入試験

N値	深度(m)	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
13	6.65	13		
	6.95	300		
40	7.15	40		
	7.45	300		
35	8.15	35		
	8.45	300		
50以上	9.00	貫入不能		
27	10.15	27		
	10.45	300		
50以上	11.15	50	140	
	11.29	140		
50以上	12.15	50	120	
	12.27	120		
50以上	13.15	50	110	
	13.26	110		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
5/7	25	66/ケーシング	W/D	300	300	0	W2 3	0
5/8	38							
5/10	25							
5/11	13							
5/12	38			200	300			
5/13	25	66	W/D	200	150			
				400	150			